

平成23年9月26日

福岡工業大学

福岡工業大学短期大学部 学長殿

学 部： 工学部  
学 科： 生命環境  
氏 名： 山口衣織

2011年夏期海外英語研修報告書を下記の通り提出致します。

## 記

私の今回の夏期海外英語研修は、予想していた何倍もの経験になり、思い出になり、学ぶものがたくさんあった。

3週間もあったにも関わらず、一瞬で過ぎ去ってしまったかのように思えた研修であった。

今回の研修の前に私が掲げた目標は、「視野を広げ、色々な人々と出会い、考え方を広げる」であった。

“視野を広げる”というのは、世界を見て文化の違いを学び、模倣したいものは模倣するということ。今回はアメリカで、このことによってちょっとした会話の温かさを感じた。レジで会計をする時、困っているとき、一人である時、など積極的に話かけてきてくれて、言葉も完全に伝わらないのに、私のペースで話してくれた。アメリカ人は、自分がどんなに忙しくても何故か心にゆとりがあり、人の事をよく観察している印象を一番うけた。そして、男の人は本当にジェントルマンだと思った。些細な事で、気を回し、ドアを開けてくれたり、荷物を持ってくれたり、優しく接してくれると思った。帰国して、このような事を改めて感じたシーンが何度もあって、アメリカは優しくかったな、と思った。

“人々との出会い”は、研修を共にする仲間・I-house で出会った仲間・home stay の家族 etc・・・と出会い、コミュニケーションをとること。人との出会いの大切さを今回、今まで以上に感じた。自分に持っていないものを持つ人々、見かけでは分からない素晴らしい部分に気付くと、自分の改める部分を沢山気付かせてもらえた。夢を持つことの大切さも感じた。夢を持つことで、毎日が変わると思ったし、熱が違うと思った。今まで、今を一生懸命頑張っていた私にとって、将来に向かって今の時間を使っていく人を見てみると、本当に夢を探したくなった。夢を探そうと思った。そして今回、好奇心を持つ楽しさや素晴らしさも改めて知った。自分が今まで見たことがなかった世界に足を踏み入れる事で、また自分の世界が広がっていくし、そこからまた人とのつながりが伸びていく。この、偶然

の奇跡を今まで沢山無駄にしてきたかもしれないと思ったし、これからは、出来るだけ無駄にしたくないと思った。そして、学んだ事が多すぎて、ここに書き示せないことにも今気付かされた。

“考え方を広げる”は、今までの自分の考えと違うものも受け入れて、その良さに気付くこと。そこから考えを広げたり、より良いものに展開していったりすることである。この考え方というのは本当に人それぞれという事も今回感じたし、その考えの違う中で如何に上手くまとめていくかも難しく感じた。この考え方の違いを受け入れていくのが、大人への階段を上っていく事なのかもしれないと思った。

I-house で韓国人や他の国の人に出会ったとき、言葉の使い方・態度の出し方など、平日頃見る物と違う事を感じたし、Homestay でもこれは感じた。

考え方の違いを受け入れるのは、本当に難しいが、これを学ぶのも国際交流なので、上手くやっていきたいと思った。

ホームステイの話だが、本当に楽しい3日間になった。私の Family は Tominaga family と仲が良かったので3日間共に過ごした。ご飯を食べにいたり、遊園地に行ったり、カラオケに行ったり、楽しいことを沢山してもらった。本当に楽しかった。しかし心残りがあった。もっと英語が流暢に話せたら、もっともっと楽しかったし、もっと色々な話が聞けたと思った。積極的にがんばって話したが、やはり浅い話しか出来なかったし、100%聞きとれた訳ではなかった。英語レッスンも少しだけしてもらったが、発音が良すぎて、単語では分かる英語も、聞きとれない事があった。だから、本当に語学を頑張ろうと思う。今は国際化時代。英語だけでなく、韓国語・中国語・英語。

夢を見つけながら、まずは語学を特訓していくという目標を立てて、将来に向かって走っていききたいと思う。

今回の英語研修では、言葉では表せない沢山の事を学んだ。この経験を忘れないように、人とのつながりを大切にしながら、これからまた頑張っていきたい。

本当にありがとうございました。

以上